

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	札幌市立真駒内曙中学校 第全学年 282名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	「スポーツを通して心身を向上させ、文化や国籍の違いを越えて友情やフェアプレーを育み、平和でより良い世界をめざす」オリンピック・パラリンピックの精神と、その価値に基づくスポーツについて理解を深める。
5 取組内容	<p>○指導計画【3時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別活動の時間」1時間 事前学習（1時間） ・「道徳」2時間 講演会（2時間） 全校生徒 282名、体育館で実施 <p>○取組の様子</p> <p>生徒の感想</p> <p>私はどちらかという合わせるタイプで、自分から何かをすることがあまりないけれど、少しだけ自分で何かをチャレンジしてみようという気持ちになりました。</p> <p>今日の講演会では質問を交えながらたくさん話を聞くことができ、良かったです。オリンピックに出場された矢代さんに実際のオリンピック会場のことをたくさん聞くことができ、とても楽しかったです。 1年</p>



開会式の様子を説明する矢代さん

今回の講演会で、わずかな出会い、小さなきっかけから自分の人生を変えるほどの出来事につながるんだと思った。また、そのような体験をした、ものすごく貴重な方に話を聞くことができ良かった。自分の試合で大切にしていることや現役時代の思いなど、自分には体験することのないことばかりだったが、自分もそんな体験ができるような人になりたいと思った。 2年



質問を交えながらの交流

今回、矢代さんの話を聞いて、自分も何かにチャレンジしていきたいなと思いました。僕は矢代さんのように日々チャレンジして大きく変われなくても、少しずつ変えていけるようにしていきたいとします。また、チャレンジをしていく中で、自分の好きに出会えていけるようにしたいです。



生徒とのフリースロー対決

そして僕も好きと言えるものに出会い、自分の個性を出していけるような人になりたいと思いました。自分も何か誰にも負けないような、1位を見つけていきたいです。 2年



お礼を述べる代表生徒

これまでたくさんのことを挑戦してきた私にとって、「やればできる」という言葉はとてもうれしかったです。頑張っても頑張っても結果が出せないときもありました。でも、更にもっと頑張れば必ず結果はついてくるということだと思います。今は受験もあって、つらい時期ですが、この言葉を励みに、最後まで頑張り通そうと思えました。高校へ行ってからも、今まで以上にいろいろな事に挑戦していきたいと思っています。 3年

6 主な成果	実際の体験に基づいた話で生徒は大変感銘を受けていた。講演後、質疑応答の場面を設定し、25人の生徒から質問が出され、良かった。
7 実践において工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の方との対話的な場面を多く設定した。 ・実演で生徒とのフリースロー対決を行った。
8 主な課題等	保護者にも公開したが参加者がいなかった。保護者や地域の方にも参観していただいて、家庭で話し合うことで、より深まる。
9 今後の取組について	今後も継続して子どもたちにオリンピック・パラリンピックの精神と、その価値に基づくスポーツについて理解を深めさせる取組を行う。